

OTOA 第 22-18 号  
令和 4 年 11 月 21 日

一般社団法人日本旅行業協会  
会長 高橋 広行 殿

一般社団法人日本海外ツアーオペレーター協会  
会長 大畑 貴彦

仕入手配代金支払い早期化のお願い（事業者間取引の実情に関する緊急アンケート結果報告）

平素は弊協会活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、10月11日を以て水際対策が一層緩和され、海外旅行ビジネスも回復に向けた動きが加速化するものと期待されるのですが、既に諸外国では国際交流が再開され、旅行需要が急激に回復したことならびにコロナ禍でサプライヤーの廃業や人手不足が発生して需給が逼迫したことにより、旅行素材の仕入環境は完全な売り手市場に一変しております。その結果、これまで後払い決済に対して比較的寛容であった地域・国のサプライヤーまでもが、前払い決済やキャンセルチャージの厳格化を求めてきており、今後、海外旅行の仕入手配を確実に進めていくためには、支払いのグローバルスタンダード化を受け入れ、先行する諸外国と同じ土俵で戦っていく以外に道はない状況となっております。

しかしながら、海外旅行専門のツアーオペレーターは、2年半以上にも亘りビジネスの機会を失い、全く収入もなく、以前のように立替払いに対応することが極めて難しい状況にあることから、今後は旅行会社の一層の協力が欠かせません。このような事態を受けて、弊協会では全会員に対して、旅行会社からの支払い実態についてアンケート調査を行ったところ、実に2割以上の会員が、旅行会社からデポジットを含む前払いを拒否された経験があると回答しており、その多くが貴協会に所属する業界を代表する旅行会社によるものであることが判明しました。

環境が激変した現在、マーケットへの復帰が大幅に遅れた日本に対する特別扱いはもはや期待出来ず、このままでは世界中のサプライヤーから敬遠され、仕入を行うことが一層厳しくなり、日本の海外旅行そのものが立ち行かなくなることを旅行業界全体が真摯に受け止めて、早急に対処する必要があるものと考えます。貴協会におかれましては、かかる状況を会員旅行会社にご周知頂くと共に、ツアーオペレーターに対するデポジットを含む前払いや支払いタームの短縮などに対応するよう、働きかけをお願いいたします。

日本の海外旅行と業界を守る為に、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上